

ポイント  
**1**

**市政への満足度と要望**

満足度が最も高いのは「バス・地下鉄などの便」で14年連続、要望は「地震や台風などの災害対策\*1」が11年連続で最も多い。

- 満足度は、昨年度調査と比べて上位3項目に変動はありませんでしたが、4位と5位が入れ替わる結果となりました。
- 要望は、昨年度調査と比べて上位5項目の順位に変動がありませんでした。

◆ 満足している公共サービス (〇はいくつでも) (別紙「単純集計結果」P8) n=2,572

順位	項目	割合*2
1	バス・地下鉄などの便	52.4% 52.2%(1)
2	ごみの分別収集、リサイクル	33.5% 34.7%(2)
3	良質な水の確保や安定供給	23.4% 25.2%(3)
4	公園・動物園の整備	22.2% 21.7%(5)
5	最寄り駅周辺の整備	21.3% 22.7%(4)

◆ 充実すべきだと思う公共サービス (〇はいくつでも) (別紙「単純集計結果」P11) n=2,572

順位	項目	割合*2
1	地震や台風などの災害対策(*1)	31.7% 35.8%(1)
2	病院や救急医療など地域医療	30.4% 30.6%(2)
3	高齢者福祉	28.8% 29.9%(3)
4	防犯対策	27.4% 28.5%(4)
5	地球温暖化への対策	23.9% 25.7%(5)

\*1 令和2年度調査では「地震などの災害対策」としていた \*2 下段は令和2年度調査結果(n=2,627)と順位

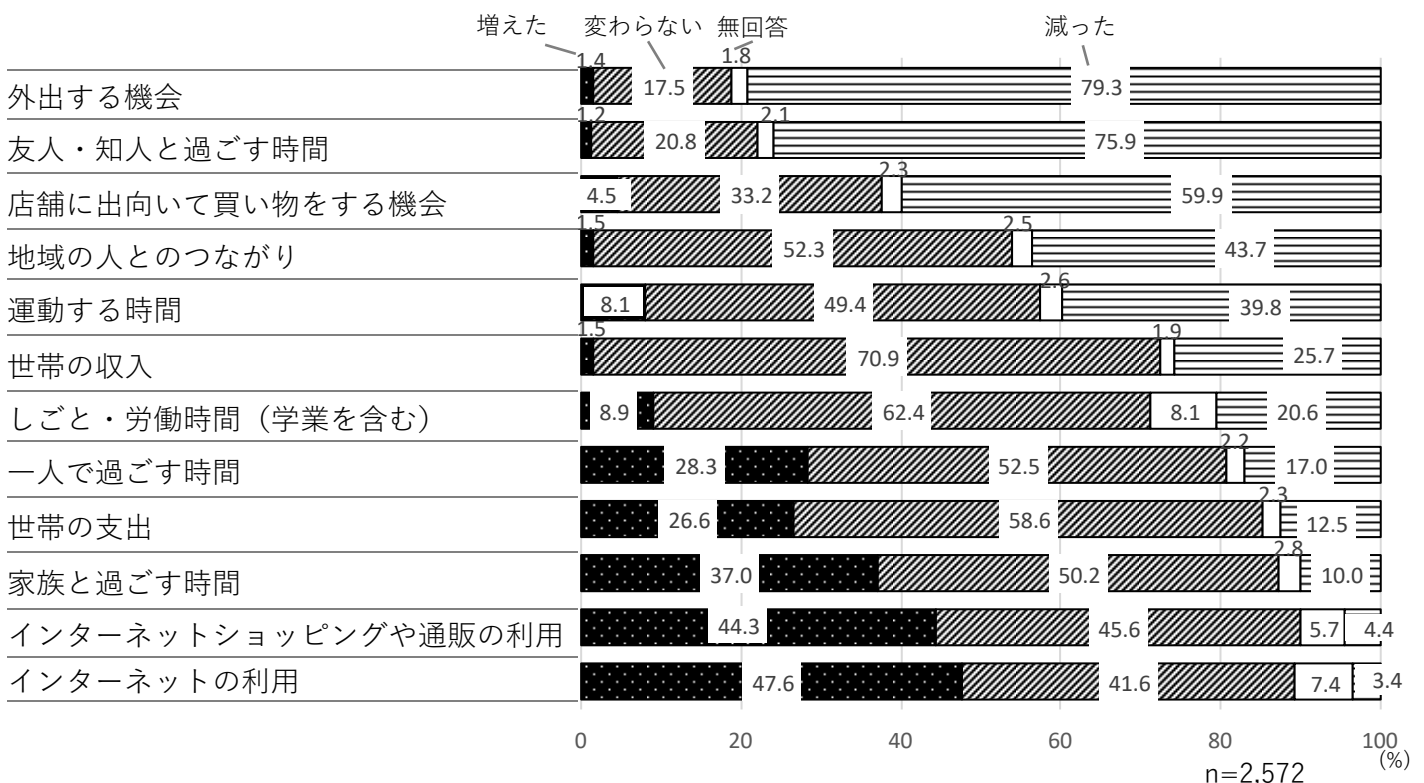
ポイント  
**2**

特集 **新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響**

「外出する機会」が減ったと答えた人は79.3%、「インターネットの利用」が増えたと答えた人は47.6%。

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について、次の12項目を尋ねたところ、「外出する機会」が減ったと答えた人は79.3%、「インターネットの利用」が増えたと答えた人は47.6%でした。

◆ あなたの生活で、新型コロナウイルス感染症の影響により、次のことが増えましたか。それとも減りましたか。(〇はそれぞれ1つ) (別紙「単純集計結果」P16)



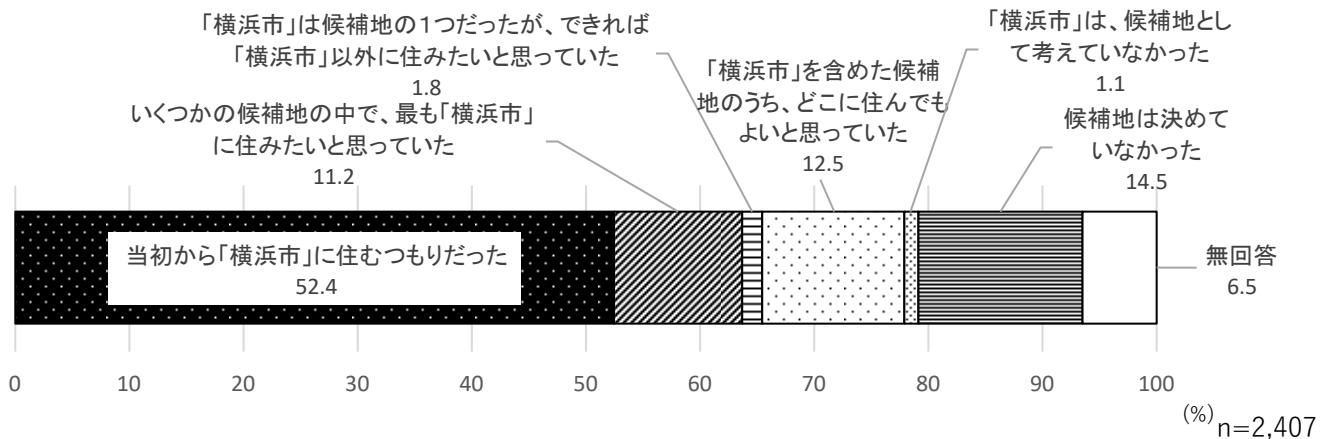
ポイント  
**3**

### 居住地選択時の候補地

住まいを決める際に「当初から「横浜市」に住むつもりだった」人が52.4%で最多、「候補地は決めていなかった」人は14.5%。

- 現在の住まいを決める際に、「当初から「横浜市」に住むつもりだった」と答えた人は52.4%で、「いくつかの候補地の中で、最も「横浜市」に住みたいと思っていた」と答えた人（11.2%）と合わせると、6割半ばの人が「横浜市」を意識して選択しています。一方で、「「横浜市」を含めた候補地のうち、どこに住んでもよいと思っていた」と答えた人（12.5%）や、「候補地は決めていなかった」と答えた人（14.5%）も、それぞれ1割を超えています。

◆ 現在のお住まいを決める際に、お住まいが「横浜市」であることを意識していましたか。（○は1つ）（別紙「単純集計結果」P3）



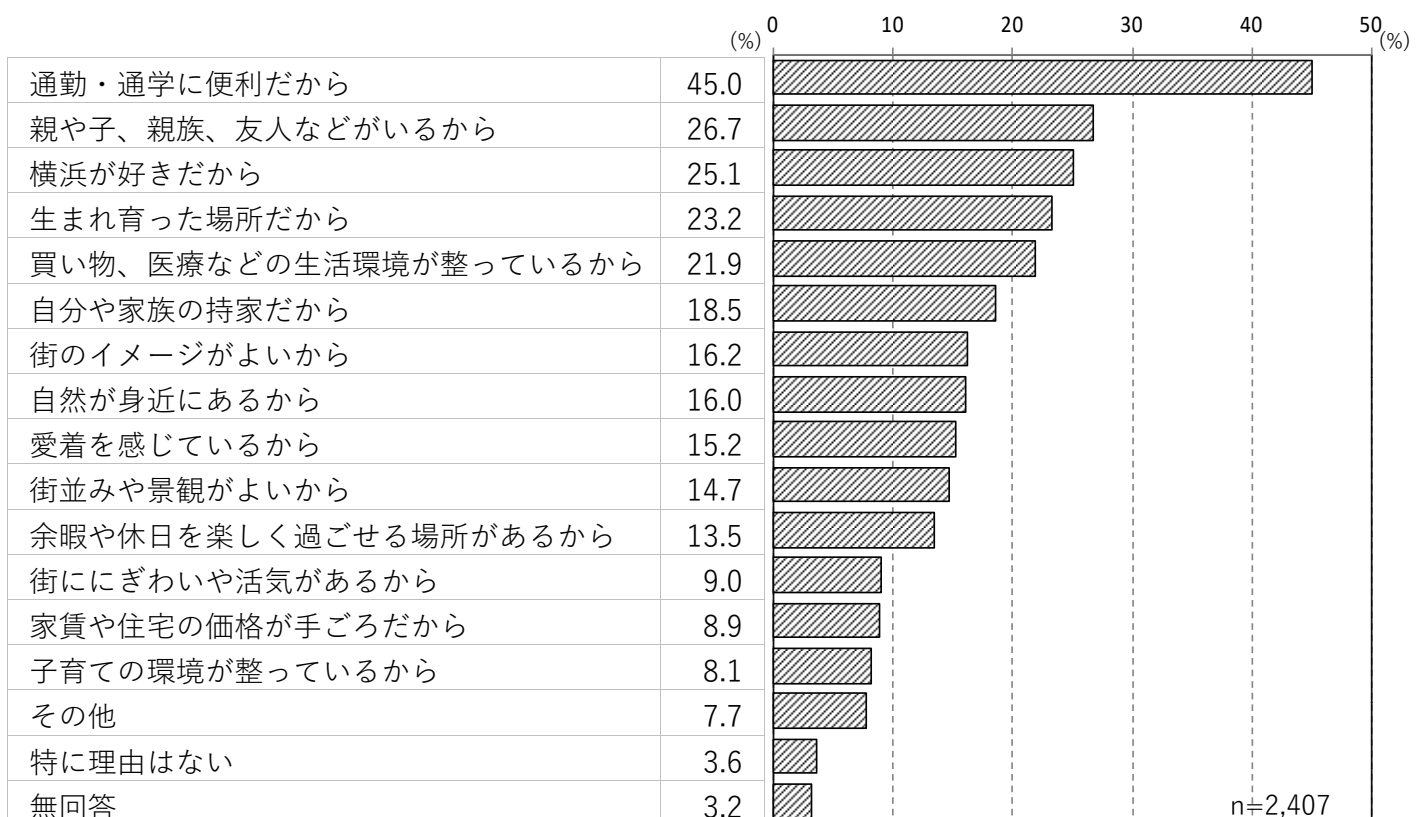
ポイント  
**4**

### 横浜市を住まいとして選んだ理由

「通勤・通学に便利だから」が45.0%で最多、次いで「親や子、親族、友人などがいるから」、「横浜が好きだから」。

- 横浜市を住まいとして選んだ理由は「通勤・通学に便利だから」が45.0%で最多、次いで「親や子、親族、友人などがいるから」、「横浜が好きだから」という結果になりました。

◆ 「横浜市」をお住まいとして選んだ理由は何ですか。（○はいくつでも）（別紙「単純集計結果」P3）



ポイント  
**5**

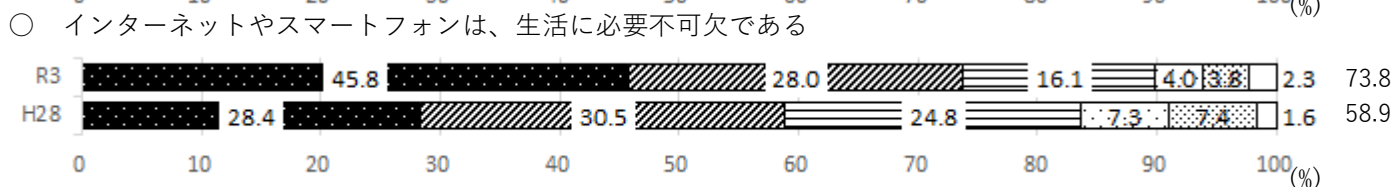
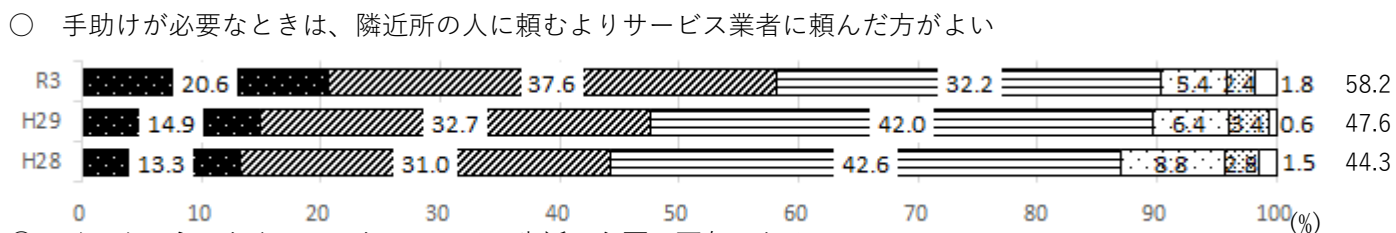
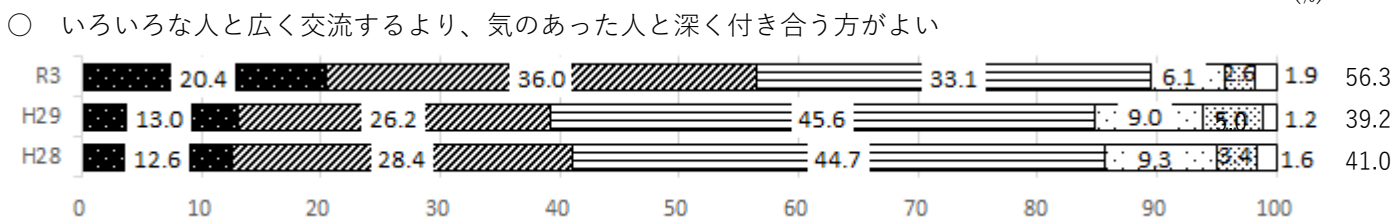
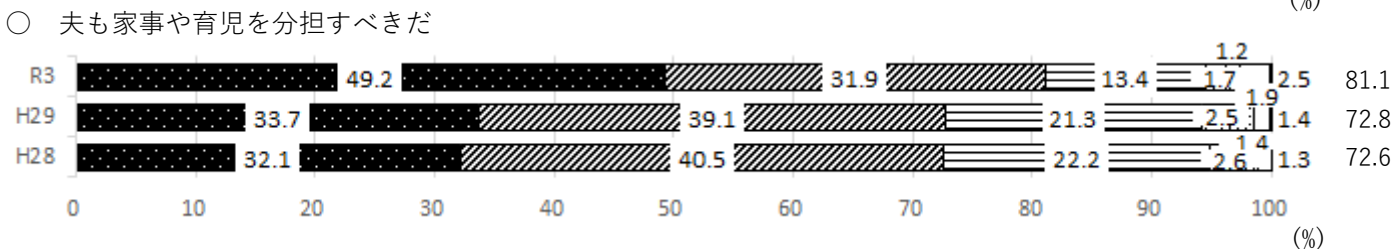
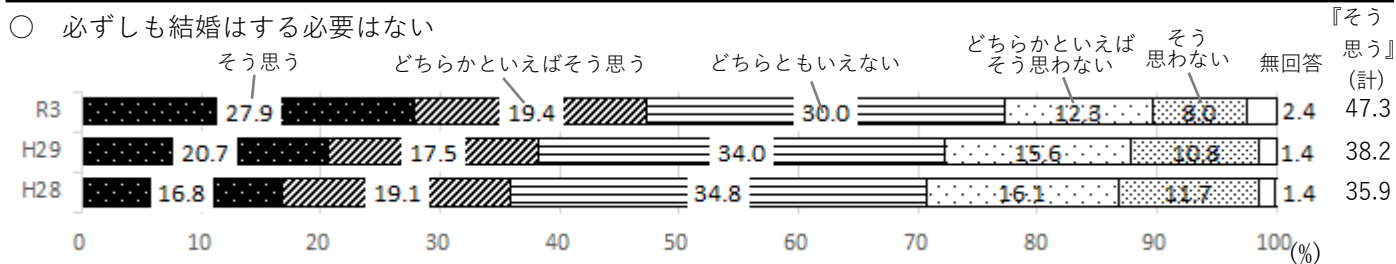
特集 **生活価値観**

「いろいろな人と広く交流するより、気のあった人と深く付き合う方がよい」と答えた人が56.3%、平成29年度調査と比べて17ポイントの増。

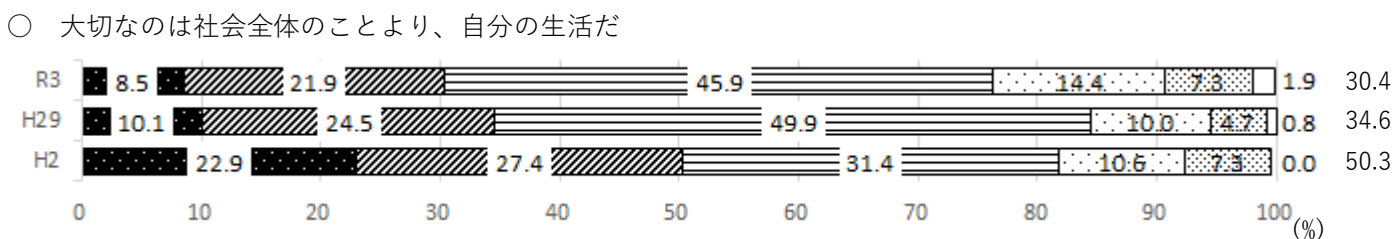
- 生活に関する価値観について、過去の調査と比べると、「いろいろな人と広く交流するより、気のあった人と深く付き合う方がよい」などの項目で『そう思う』（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計）と答えた人が増加しました。

◆ 次に挙げる項目について、あなたはどのように思いますか。当てはまるものをお選びください。（○はそれぞれ1つ）（別紙「単純集計結果」P17）

**↑ 増** 『そう思う』（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計）が増加



**↓ 減** 『そう思う』（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計）が減少



「お互いの立場や能力、価値観などの違いを認め合い、それぞれが望む生き方を選択できる社会になること」に期待している人は81.9%。

- 生活を取り巻く環境の変化について、次の6項目を尋ねたところ、「お互いの立場や能力、価値観などの違いを認め合い、それぞれが望む生き方を選択できる社会になること」に期待している人は81.9%、「仕事をする場所や時間が選択できるなど、新たな仕事スタイルが広がること」に期待している人は69.3%という結果になりました。
- 「キャッシュレス化が進むこと」には2割超の人が不安と回答しています。

あなたは、次のような私たちの生活を取り巻く環境の変化について、期待をしていますか。それとも、不安に思っていますか。(〇はそれぞれ1つ) (別紙「単純集計結果」P18)

